

仙台まちづくり若者ラボ2024

友達に仙台を案内できるほど詳しく  
なろう！

E：観光：退屈しま仙台

# ワークショップ

- なぜこの観光チームに来たか、何をしたいか
- 仙台の観光地をいくつ知っているか
- どのような観光地に行きたいか
- 仙台市は海外に知られているのか？  
いざ自分たちが仙台市内を案内するとして、場所を知っているか？



**テーマ**

## 仙台市の観光ツアーを組めるほど詳しくなろう

まずは他人に仙台を紹介できるように様々な観光地に自分たちで足を運び知識を蓄える

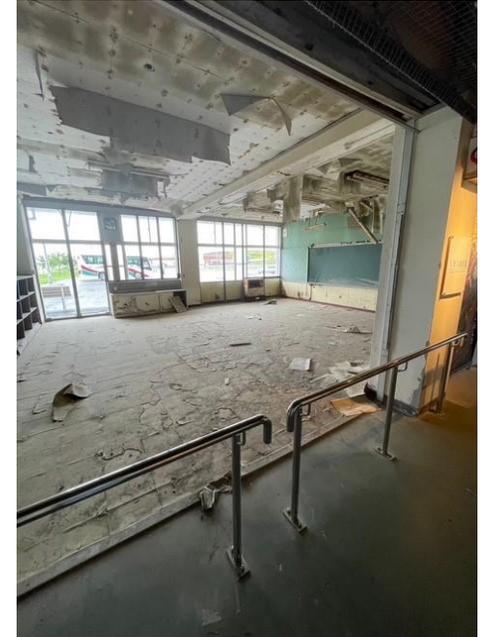


# フィールドワーク①

- ・ループルバスに乗り、荒浜小学校とアクアイグニスに行きました
- ・どのような手段でどのような楽しみ方があるのかを調査しました



- ・震災の当時の様子やその重みについて学ぶことができました
- ・台湾祭りのランタンを見ながら買い物をすることができました
- ・バス1本でさまざまなところへ行けて堪能できるところに魅力を感じました

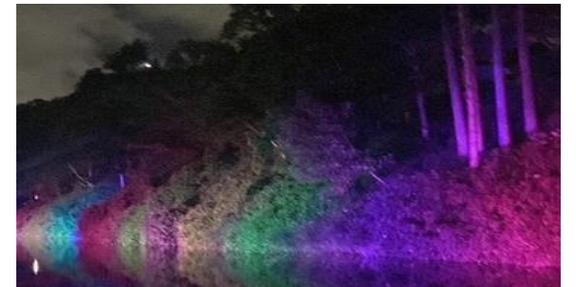


## フィールドワーク②

- ・仙台城址に行きました
- ・仙台城址がライトアップされていました
- ・さまざまな屋台が開かれていました
- ・世代別の調査を行いました



- ・仙台城址だけでなく夜景まで楽しめました
- ・お祭りの屋台でご飯を食べました
- ・家族連れやカップルと一緒に景色を見たり食事を楽しんだりさまざまな楽しみ方がありました



## フィールドワーク③

- ・スリーエム仙台科学館に行きました
- ・どのようなものがあるか視察しました
- ・家族できている人がどれほど多いのかなどを調査しました



- ・見るだけでなく体験もできました
- ・大人も楽しみながら過ごせました
- ・8割が家族で来ており親子連れだけでなく祖父母で来ている家族もいました



# アクション

- ・ワークショップやフィールドワークを経て、  
→行ってみたいと思うだけではなく、自分たち自身が実際に足を運び、体験することで観光地の魅力を深めることができる  
→知った魅力を外部の人に案内をして、観光地の魅力を知ってもらいたい



## 2つの視点から実際に案内をする

- ①以前行ったフィールドワークを活かした観光案内
- ②今までのフィールドワークで仙台の楽しい場所を見つけてきたことを踏まえ、一緒に仙台の魅力を知る

# アクション

11月17日

仙台市内の観光スポットについて、2班に分かれて実際に案内をしました

①荒浜小学校チーム  
以前行ったフィールドワークを活かして観光案内をする



## 「参加者の感想」

- ・行く機会のない場所だから行ってみたい経験になった
- ・他人事のようなものではあったがリアルに感じることができた
- ・人によって感じ方が様々であると知れた



実際に案内してみても、以前行ったフィールドワークを活かしたため、案内がしやすく、行く機会のない場所だからこそ貴重で良い経験になった



# アクション

## ②八木山チーム（ベニーランド）

今までのフィールドワークで仙台の楽しい場所  
を見つけてきたことを踏まえ、外部の人と一緒に  
仙台の魅力を知る

### 「参加者の感想」

- ・ただ遊ぶのではなく、魅力を知りながらベニーランドを楽しんだため、新鮮だった
- ・家族連れが多く、子どもたちの楽しむ様子を感じられたが、大学生や大人であっても、乗り物全制覇などの違った目的で楽しむことができた



行く目的に工夫を加えることで楽しみ方は沢山あり、人それぞれ違った魅力を感じることができると思った



# まとめ

## 半年間の活動を通しての成果や課題などのポイント

### 【成果】

- ・仙台の知識が増えて観光案内ができるまでに成長
- ・改めて観光について考えるいい機会となった

### 【課題】

- ・メジャーな観光地ばかりを訪れたがもっとマイナーな観光地を取り上げなければ面白みがない
- ・移動手段を考えて行動すべき

# 今後の予定

## 【個人】

- ・今回学んだ知識をもとに年に4回ほど友達に観光案内
- ・SNSを活用して積極的に観光地の情報を発信
- ・個人的に仙台の魅力を知る機会を設ける

## 【グループ】

- ・半年に1回グループで集まり情報共有し改めて友達に観光案内